

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別																																													
地学実験 I Earth Science Experiment I		情報メディア学科	2年次	前期																																													
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員																																														
実験	1		渡邊 哲郎																																														
概要																																																	
<p>中学校理科の地学領域で取り扱う内容の基礎となる観察・実験を行い、教育現場で活用できる知識、技能を習得する。</p> <p>大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙の領域の概要を、実験観察を通して体験する。</p>																																																	
到達目標																																																	
<p>(1) 大地の活動の様子や身近な岩石、地層、地形などの観察を通して地球について説明できる。</p> <p>(2) 身近な気象の観察、観測を通して、気象要素、天気の変化の関係を他者に説明できる。</p> <p>(3) 身近な天体の観察を通して、地球の運動について理解を深め太陽・惑星・月の特徴を説明できる。</p> <p>(4) 地学に関する身近な問題について、自分の意見を述べるができる。</p>																																																	
授業内容とすすめ方																																																	
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 5%;">1</td><td style="width: 20%;">大地の構造</td><td>地形の観察</td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td>地形と地質</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td>造岩鉱物の観察</td></tr> <tr><td>4</td><td>大地の構造</td><td>地層の成り方</td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td>堆積岩と化石</td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td>地層の歴史</td></tr> <tr><td>7</td><td>大気と水</td><td>気象の観察・観測</td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td>大気中の水蒸気</td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td>雲とその成り方</td></tr> <tr><td>10</td><td>気象</td><td>大気の大気</td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td>天気の変化と気団</td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td>気圧の変化</td></tr> <tr><td>13</td><td>天体</td><td>星空観察</td></tr> <tr><td>14</td><td></td><td>天体の動き</td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td>月の満ち欠け</td></tr> </table> <p>3日程度で県内の科学教育センター（博物館等）の講義・見学・実習を受け、地学に関する分野の学外授業を行う。</p>					1	大地の構造	地形の観察	2		地形と地質	3		造岩鉱物の観察	4	大地の構造	地層の成り方	5		堆積岩と化石	6		地層の歴史	7	大気と水	気象の観察・観測	8		大気中の水蒸気	9		雲とその成り方	10	気象	大気の大気	11		天気の変化と気団	12		気圧の変化	13	天体	星空観察	14		天体の動き	15		月の満ち欠け
1	大地の構造	地形の観察																																															
2		地形と地質																																															
3		造岩鉱物の観察																																															
4	大地の構造	地層の成り方																																															
5		堆積岩と化石																																															
6		地層の歴史																																															
7	大気と水	気象の観察・観測																																															
8		大気中の水蒸気																																															
9		雲とその成り方																																															
10	気象	大気の大気																																															
11		天気の変化と気団																																															
12		気圧の変化																																															
13	天体	星空観察																																															
14		天体の動き																																															
15		月の満ち欠け																																															
テキストおよび 参考文献	プリントを使用																																																
メッセージ など	実験観察を通して、私たちが日々生活している地球に関する理解を深める。																																																

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 大地の活動の様子や身近な岩石、地層、地形などの観察を通して地球について説明できる。	ほぼ完璧に説明できている。	大きな間違いがなく、基本を説明できている。	間違いはいくつかあるが最低限の基本を説明できている。	説明できていない。	定期試験 (知識・理解)	20%
(2) 身近な気象の観察、観測を通して、気象要素、天気の変化の関係を他者に説明できる。	ほぼ完璧に説明できている。	大きな間違いがなく、基本を説明できている。	間違いはいくつかあるが最低限の基本を説明できている。	説明できていない。		20%
(3) 身近な天体の観察を通して、地球の運動について理解を深め、太陽・惑星・月の特徴を説明できる。	ほぼ完璧に説明できている。	大きな間違いがなく、基本を説明できている。	間違いはいくつかあるが最低限の基本を説明できている。	説明できていない。		20%
(4) 地学に関する身近な問題について、自分の意見を述べることができる。	ほぼ完璧に自分の意見を述べている。	大きな間違いがなく、自分の意見を述べている。	間違いはいくつかあるが、最低限自分の意見を述べている。	自分の意見を述べていない。	課題レポート(関心・意欲・思考力・判断力・表現力)	40%